

会誌編集委員会

女子部

Number
28

親の出張で成長する子どもたち

明治大学 五十嵐 悠紀

子どもが生まれてからの夫婦同時の出張では、これまで子どもを幼稚園・保育園をお休みさせて、1) 子連れでの出張、2) 父母（子どもの祖父母）も連れての出張、3) 実家に預けての出張、といろいろ経験してきました。

昨年（2015年）上の子が小学校に入ったのを機に、小学校の行事などと重なってしまうが増えてきました。それと同時に学校を休ませてまで連れて行ったり、実家に預けたりするのはちょっと難しくなってきたなという印象を持っていました。すると先日、義両親から「今回は東京に行って預かるよ」との提案があり、自宅に義両親に来てもらって子どもを自宅で預かってもらう、という4つ目の選択肢を初めて選択しました。

義両親は遊びに来たことはありますが、家事・育児を我が家で主体的にやったことはありません。そこで、私がまず準備したことは、出張に行く2週間ほど前から、家事や学校の支度、弟の世話をすべて7歳の長男と一緒にやること。お米の場所やお醤油の位置に、ティッシュなどの日用品のストックの位置、洗濯機のボタンの押し方や洗濯ネットがどこにあるかなども経験して覚えてもらいました。小学校の連絡帳もこれまでは「連絡帳は？」と言わないと見せてこなかったのを、自分から見せられるように、そしてお風呂に入る支度も弟の分も含めて、自分でできるようにと教育しまし

た。5歳の次男もやる気を見せたので、幼稚園の準備を自分でできるよう、食べ終わったお弁当箱は自分で出すことに始まり、翌日のハンカチ、ティッシュの補充は本人が分かるように、数日分かごに入れて分かりやすく並べる、などの工夫をして、自分のことは自分でという教育をいつも以上に強化しました。

さらに、日用品のストックの確認と買い足し、子どもの常備薬の確認と補充、出張に連れていく1歳児の体調悪化の際のお薬の確保、なども必須。義両親には、周辺の食料品店や日用品店の場所、小学校・学童保育・幼稚園をマークした地図に連絡先一覧の作成。そして、子どもたちの先生方へ、両親ともに出張である旨と、義母の携帯電話番号を伝えるなど、準備すべきことは次から次へと出てきました。そんなこんなで、出張直前には私自身が喘息と診断され、吸入器持参で出張するなど、ハプニングもありつつも、なんとか無事に7歳と5歳の2人の子どもを自宅に残し、1歳児と夫とともに海外出張に行ってくることができました。義母には、「分からなかったら長男に聞いてください！」という言葉を残して。

帰ってきてみると、一回りも二回りも成長した息子たち。普段の家事・育児が出張する前より格段に楽になっている今日この頃です。